SONY

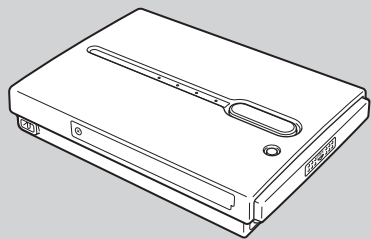
2-022-121-**03**(1)

取扱説明書

HDDフォトストレージ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDPS-M1

準備する・・・・・
本機にデータをコピーする・・
パソコンとつないで使う・・・・
その他・・・・・・

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 ～ 9 ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

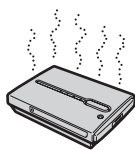
定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源コードに痛みがないか、各端子やスロット部にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

すぐにお客様ご相談センターまでご連絡ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

❶ 電源を切る
❷ AC パワーアダプターや USB ケーブルを取りはずす
❸ お客様ご相談センターに連絡する

データはバックアップをとる

本機内の記録内容は、常にバックアップをとって保存してください。トラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

風呂・シャワー室での使用禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

安全のために 2

こんなことができます 11

本機で使える記録メディア 13

“メモリースティック”について 14

パソコンの推奨使用環境 15

各部のなまえとはたらき 16

準備する

付属品を確認する 19

電源を準備する 20

バッテリーを充電する 20

AC パワーアダプターで使う 21

パワーセーブ機能について 21

海外で使うときは 22

本機にデータをコピーする

“メモリースティック”を入れる／取り出す 23

コンパクトフラッシュカードを入れる／取り出す 25

本機にデータをコピーする 27

パソコンとつないで使う

本機とパソコンを準備する 30

パソコンにデータをコピーする 31

Windows 2000/Windows Me をお使いの場合 31

Windows XP をお使いの場合 . 38

Macintosh をお使いの場合 42

データの保存先とフォルダ名 ...44

外付けハードディスクドライブまたはリーダー／ライターとして使う 45

その他

故障かな？と思ったら 46

使用上のご注意 48

お手入れ 50

本機を廃棄するときのご注意 ...50

保証書とアフターサービス 52

主な仕様 53

ランプの見かた 54

バッテリー残量／充電表示 54

エラー表示 55

⚠警告

下記の注意を守らないと**火災**や**感電**などにより**死亡**や**大けが**につながることがあります。

運転中に使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながら本機を使用することは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- 自動車内に置くときは、急ブレーキなどで本体が落下してブレーキ操作の妨げにならないように充分にご注意ください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。絶対に自分で分解しないでください。
内部の点検や修理はお客様ご相談センターにご依頼ください。

内部に水や異物を入れない

禁止

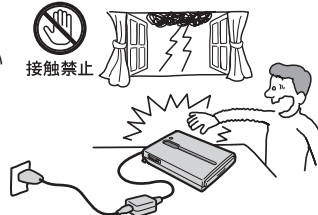
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この製品は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、AC パワーアダプターや USB ケーブルなどを抜いて、お客様ご相談センターにご連絡ください。

雷が鳴りだしたら、機器にふれない

接触禁止

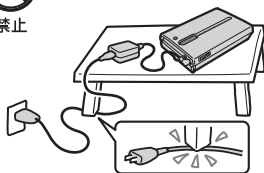
遠くで雷が鳴りだしたときは、感電を避けるため、機器にふれないでください。

持ち運びのときに振り回さない

禁止

ハンドストラップをご使用の場合は、本体を振り回さないようにご注意ください。本体に衝撃を与えたり、ドアにはさまったりすると故障やけがの原因となります。持ち運ぶ際には手で押さえるか、ポケットに入れるなどして本体を固定してください。

電源コードを傷つけない

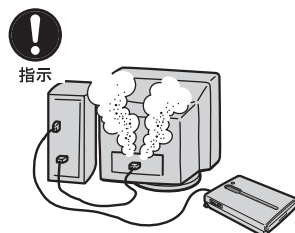
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

メディアは、乳幼児の手の届かない場所に置く

お子さまがメディアを誤って飲み込む恐れがあります。

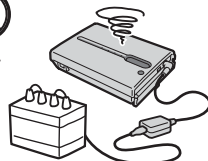
⚠注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

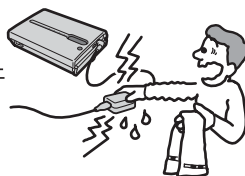
コネクターはきちんと接続する

- コネクターに金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

付属以外の AC パワーアダプターや USB ケーブルを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

ぬれた手で本機や AC パワーアダプターをさわらない

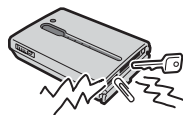
感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは電源コードをはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

ハンドストラップは正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ハンドストラップに傷などがないか使用前に確認してください。

“メモリースティック”、コンパクトフラッシュカードの挿入口や端子などから、内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない

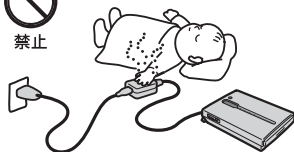
火災・感電の原因となります。

不安定な場所に置かない

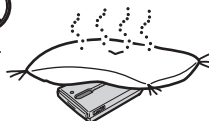
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやUSBケーブルなどは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

通電中の本体や AC パワーアダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機や AC パワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠注意 下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

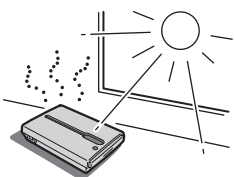
AC パワーアダプターコードや USB ケーブルを AC パワーアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

車内に長時間設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

本機や AC パワーアダプター等を水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って AC パワーアダプターを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、故障の原因となることがあります。

リチウムイオン電池のリサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。
不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページ（http://www.baj.or.jp/）を参照してください。

廃棄時の内蔵バッテリーの取りはずしかたは、「内蔵バッテリーの取りはずしかた」（50 ページ）をご覧ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

記録内容の補償はできません

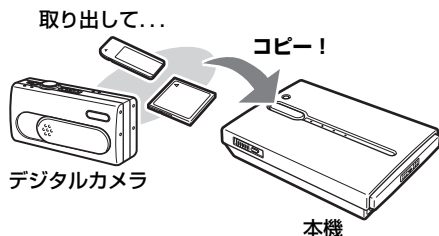
本機のハードディスクドライブに記録されている内容、およびパソコン経由で“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードに記録された内容の補償については、ご容赦ください。

- “Memory Stick”（“メモリースティック”）、MEMORY STICK™ および“MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）はソニー株式会社の商標です。
- “メモリースティック　デュオ”および“ MEMORY STICK DUO ”はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick Duo”（“マジックゲート メモリースティック　デュオ”）はソニー株式会社の商標です。
- “メモリースティック　PRO”および“ MEMORY STICK PRO ”はソニー株式会社の商標です。
- “メモリースティック　PRO　デュオ”および“ MEMORY STICK PRO DUO ”はソニー株式会社の商標です。
- “マジックゲート”および“ MAGICGATE ”はソニー株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OSは、米国Apple Computer Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- コンパクトフラッシュは、米国サンディスク社の商標であり、CFA（CompactFlash™ Association）にライセンスされています。
- Microdrive® は Hitachi Global Storage Technologies の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

本書では Microsoft® Windows® XP Home Edition および Microsoft® Windows® XP Professional の記載を Windows XP として記載しています。
本書では Microsoft® Windows® 2000 Professional の記載を Windows 2000 として記載しています。
本書では Microsoft® Windows® Millennium Edition の記載を Windows Me として記載しています。

こんなことができます

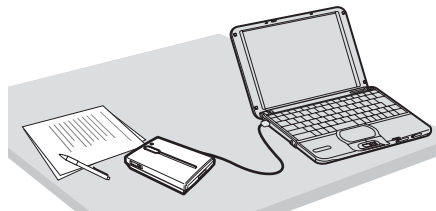
デジカメ画像をどんどん保存できる！

デジタルカメラで撮影完了したメディアを本機に差し込み、画像データを本機の内蔵ハードディスクにコピー。コピーが終わったら、またメディアを戻して使えます。本機の内蔵ハードディスクは大容量 40 GB、64 MB のメディアが約 620 枚保存できます。

パソコンとつないで使えます！

付属の USB ケーブルを使って、メディアや本機に保存されているデータを、手軽にパソコンにコピーできます。パソコンと一緒に使うための特別な設定や、ソフトウェアのインストールなどは必要ありません。

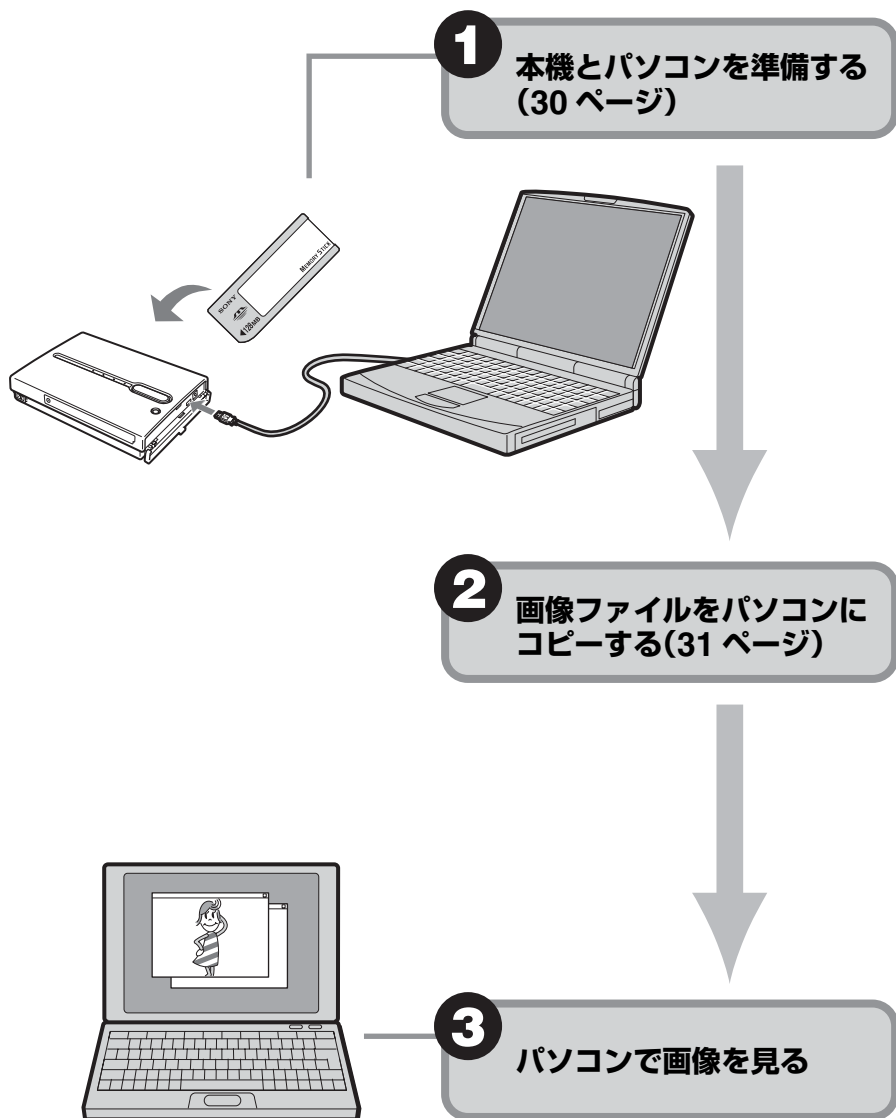
画像をパソコンに取り込むまでの流れは、次ページをご覧ください。

外付けハードディスクドライブとしても使えます！

USB 2.0 対応外付けハードディスクドライブとして、データを保存できます。専用のドライバをインストールせずにパソコンに接続できますので、外出先での急なデータのコピーに対応できます。

カードリーダー／ライターとしても利用できます。

持ち運びにも便利な軽量コンパクト設計！

荷物の多い旅行のときでもかさばらない、コンパクトサイズ。重さも約 300 g と軽量です。

画像をパソコンに取り込むまで

本機で使える記録メディア

本機では、次の記録メディアを使用できます。

"メモリースティック"

"メモリースティック"の種類	本機での記録／再生
"メモリースティック" "メモリースティック"（メモリーセレクト機能付） "メモリースティック　デュオ"	○
"メモリースティック" （マジックゲート／高速データ転送対応） "メモリースティック　デュオ" （マジックゲート／高速データ転送対応）	○ *1*2
"マジックゲート　メモリースティック" "マジックゲート　メモリースティック　デュオ"	○ *1
"メモリースティック　PRO" "メモリースティック　PRO デュオ"	○ *1*2

*1 マジックゲート機能が必要なデータの記録や再生はできません。

*2 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送は"メモリースティック　PRO"のみに対応しております。転送速度、および各機能はご使用の機器の仕様により異なります。

コンパクトフラッシュカード（CF カード）

- Type I、II
- マイクロドライブ

ヒント

対応記録メディアについての最新情報は、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/MS/

ご注意

- すべての"メモリースティック"・メディアやコンパクトフラッシュカード、マイクロドライブの動作を保証するものではありません。
- 本機では、1 GB までの"メモリースティック"およびマイクロドライブで動作確認を行っています。これを超える容量の"メモリースティック PRO"およびマイクロドライブでの動作は保証しておりません。
- 上記以外のメディアや機器などは、本機に挿入しないでください。

“メモリースティック”について

“メモリースティック”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代の IC 記録メディアです。“メモリースティック”対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの 1 つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

“メモリースティック”には、標準サイズのものとその小型サイズの“メモリースティック　デュオ”があります。本機ではどちらでもお使いいただけます。

“メモリースティック”の種類

“メモリースティック”には、用途に応じて以下の 6 種類があります。

“メモリースティック　PRO”

“メモリースティック　PRO”対応機器でのみお使いいただける、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した“メモリースティック”です。

“メモリースティック”

著作権保護技術（マジックゲート）が必要なデータ以外の、あらゆるデータを記録できる“メモリースティック”です。

“メモリースティック”（マジックゲート／高速データ転送対応）

著作権保護技術（マジックゲート）を搭載し、高速データ転送に対応した“メモリースティック”です。すべての“メモリースティック”対応機器でお使いいただけます。
本機は、この“メモリースティック”の高速データ転送に対応していません。

“マジックゲート　メモリースティック”

著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した“メモリースティック”です。

“メモリースティック -ROM”

あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の“メモリースティック”です。データの記録や消去はできません。

“メモリースティック”（メモリーセレクト機能付）

内部に複数のメモリー（128MB）を搭載している“メモリースティック”です。

本体裏面のメモリーセレクトスイッチにより、用途に応じてご使用になるメモリーを選択できます。各メモリーを同時に、また連続でご使用することはできません。

マジックゲートとは

マジックゲートは、“メモリースティック”と機器の両方に搭載されている場合に働く、著作権保護技術です。記録するデータの暗号化と、“メモリースティック”と機器の相互認証の 2 つの技術を使って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。本機はマジックゲートを搭載していないため、マジックゲートが必要なデータの記録や再生はできません。

マジックゲートを搭載した機器と“メモリースティック”の間では、デジタル音楽データを記録しようとすると、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認します。確認（認証）できた場合のみ、データを暗号化して“メモリースティック”に記録します。記録されたデータを再生するときも同じように、マジックゲートを搭載した機器と“メモリースティック”が相互に確認し、認証された場合のみ再生できます。

パソコンの推奨使用環境

本機は、下記の対応 OS がプリインストールされていて、USB ポートが標準装備されているパソコンで使用できます。

Windows

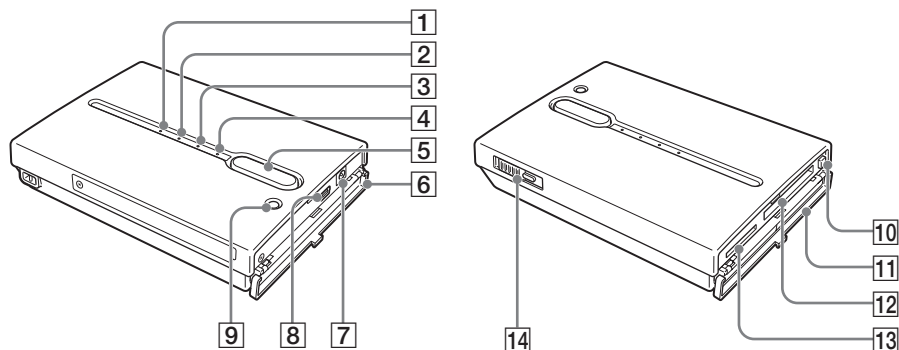
- Windows XP Professional
- Windows XP Home Edition
- Windows 2000 Professional（Service Pack 4 以降）
- Windows Me

ご注意

- 上記 OS でもアップグレードされた場合や、マルチブート環境の場合は、動作保証いたしません。
- 後から追加したUSBインターフェースカードやUSB CardBusカードなどをお使いの場合は、動作保証いたしません。

Macintosh

- Mac OS X（v10.3 以降）

各部のなまえとはたらき

1 ⏻ ▭(パワー)ランプ

本機の電源が入っているときに点灯または点滅します。
バッテリーの残量に応じて、光りかたが変化します。(21 ページ)

2 (“メモリースティック”)ランプ(23 ページ)

本機を単体でお使いの場合、“メモリースティック”が入っているときは緑色に点灯し、コピー中は点滅に変わります。

3 CF(コンパクトフラッシュ)ランプ(25 ページ)

本機を単体でお使いの場合、コンパクトフラッシュカードが入っているときは緑色に点灯し、コピー中は点滅に変わります。

4 (ハードディスク)ランプ(28 ページ)

コピー中は緑色に点滅します。

5 COPY(コピー)ボタン(28 ページ)

“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードから内蔵ハードディスクにデータをコピーするときに使います。
コピー可能時には、このボタンが緑色に点灯します。

6 端子カバー(17 ページ)

7 (DC 入力)端子(20 ページ)

付属の AC パワーアダプターをつなぎます。

8 (USB)端子(30 ページ)

付属の USB ケーブルをつなぎます。

9 CANCEL/HDD CAPA.(取り消し／ HDD 残容量表示)ボタン(28 ページ)

コピーを途中で中止するときや､ハードディスクの残量を確認するときに使います。

10 イジェクトボタン(26 ページ)

コンパクトフラッシュカードを取り出すときに使います。

11 スロットカバー(17 ページ)

12 コンパクトフラッシュスロット(25 ページ)

コンパクトフラッシュカードを入れます。

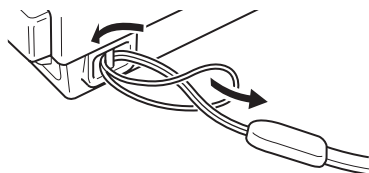
13 “メモリースティック”スロット(23 ページ)

“メモリースティック”を入れます。

14 I/⏻(電源)スイッチ(27 ページ)

電源を入／切します。

15 ハンドストラップ取付部

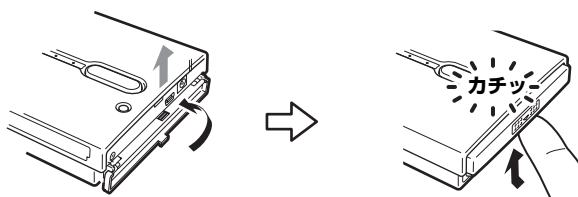
ハンドストラップの取り付けかた

カバーの開けかた／閉めかた

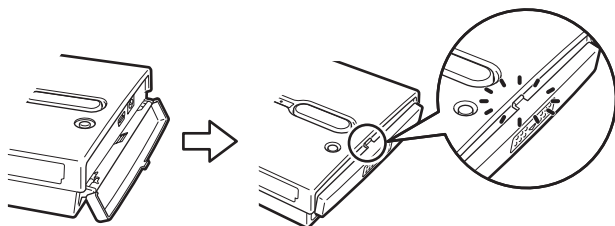
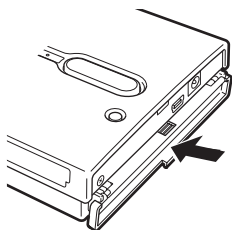
端子カバー、スロットカバーとも、開けかた／閉めかたは同じです。

カバーを開けるには

図のようにして、カバーの上側を軽く押し下げると、カバーが開きます。

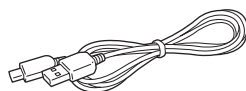
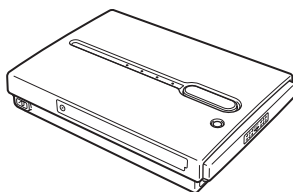
カバーを閉めるには

カバーのツメが完全に本機の中に入るようにして閉じ、カチッと音がするまで押し上げます。カチッと音がすると、完全にカバーが閉じた状態になります。

ご注意

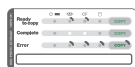
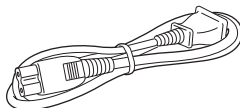
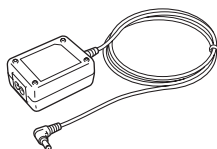
- 使わないときは、カバーを閉じておいてください。
- 図のように、ツメがきちんと本機の中に入っていないと、カバーを閉じることはできません。

その場合は、図のように、カバーの中央を押していったん開き、再度閉めなおしてください。

付属品を確認する

箱を開けたら、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。
万一、不足しているものがあったり破損しているものがあるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 本体（1）

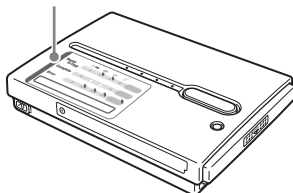
- USB ケーブル（1）

- AC パワーアダプター（HDAC-M1/MCS-AC1）（1）

- 電源コード（1）

- ランプ表示ラベル（1）

- キャリングケース（1）
- ハンドストラップ（1）
- 取扱説明書（本書）
- はじめにお読みください（1）
- PhotoDiary ソフトウェア（ハードディスクに内蔵）
- 保証書（1）

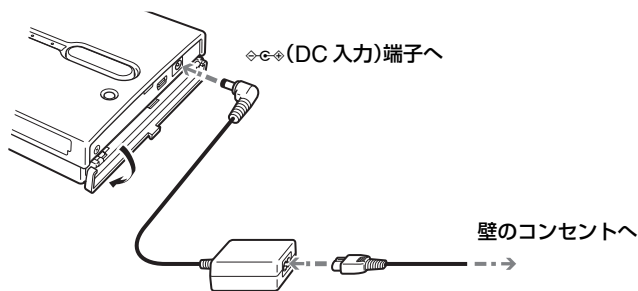
ランプ表示ラベルの貼りかた

図のように、ランプ表示ラベルを本機に貼ってご利用になることをおすすめします。ランプ表示ラベルには、本機のランプの見かたが記載されています。

ランプ表示ラベル

電源を準備する

本機は、内蔵バッテリーまたは付属の AC パワーアダプターでお使いいただけます。

バッテリーを充電する

AC パワーアダプターをつながずに本機を使用するときは、あらかじめ本機の内蔵バッテリーを充電しておく必要があります。
本機の内蔵バッテリーを充電するには、次のように付属の AC パワーアダプターを本機につなぎます。

本機に AC パワーアダプターをつなぐと、自動的にバッテリーの充電が開始します。充電中は ⏻ ▭（パワー）ランプが点滅し、充電が完了すると消えます。
充電が完了するまで、およそ 4 時間かかります（常温使用時）。

ヒント

AC パワーアダプターが接続されていれば、本機を使用中でも充電が行われます。ただし、充電が完了するまで 4 時間以上かかる場合があります。

ご注意

- 必ず付属の AC パワーアダプターをご使用ください。付属の AC パワーアダプター以外は使用できません。
- 10 ℃以下でお使いになる場合は、バッテリーの使用時間が著しく短くなります（低温度環境では動作保証いたしません）。必ず AC パワーアダプターを使用してください。
- バッテリーの性能を保つため、定期的に AC パワーアダプターをつないで充電してください。

バッテリー残量について

本機を内蔵バッテリーのみで使用していくうちに、バッテリーの残量が減少します。バッテリーの残量は、⏻ ▭（パワー）ランプの状態で表示されます。

充電中は、⏻ ▭（パワー）ランプが点滅します。本機を使用中に充電する場合は、充電状態に応じて点滅するランプの色が、赤色 ⇨ 黄色 ⇨ 緑色に変わります。

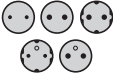
ランプの状態	バッテリー残量	意味
緑色に点灯	50%以上	AC パワーアダプターを使わなくても充分動作します（または、AC パワーアダプター動作中です）。
黄色に点灯	10%以上 50%未満	バッテリーが少なくなっていますが、数枚のメディアはコピーできます。
赤色に点灯	10%未満	AC パワーアダプターをつないで充電してください。この状態でコピーを続けると、自動的に電源が切れます。
赤色に点滅	空	バッテリーが空になりました。充電が必要です。充電が終わると消灯します。

ご注意

バッテリー残量の数値はおおよその目安です。実際のバッテリー残量は、使用環境、充電回数などにより異なる場合があります。

AC パワーアダプターで使う

内蔵バッテリーの残量を気にせずに、本機をお使いいただけます。
「バッテリーを充電する」（20 ページ）と同じ方法で、本機に AC パワーアダプターをつなぎます。

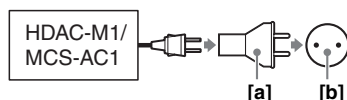
パワーセーブ機能について

本機を単体で使っているときは、5 分間何も操作しないでいると、AC パワーアダプターがつながっていても、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

海外で使うときは

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	変換プラグアダプター
主に北米など	不要です。
主にヨーロッパなど	

本機は海外でもお使いになれます。

- 付属の AC アダプター HDAC-M1 ／ MCS-AC1 は全世界の電源（AC100V ～ 240V・50/60Hz）でお使いいただけます。
- 下図のように、付属の AC アダプターを差し込む変換プラグアダプター［**a**］が必要になる場合があります。

- 変換プラグアダプター［**a**］／電源コンセント［**b**］の形状は旅行先の国や地域によって異なります。あらかじめ、旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- 電子式変圧器（トラベルコンバーター）はご使用にならないでください。故障の原因となります。

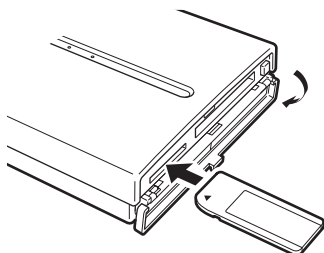
“メモリースティック”を入れる／取り出す

本機の“メモリースティック”スロットは、標準サイズの“メモリースティック”と小型の“メモリースティック　デュオ”の両方に対応しています。本機には、挿入された“メモリースティック”のサイズを自動的に判別する機能があります。本機では、メモリースティック　デュオアダプターなしでご使用いただけます。

ヒント

スロットカバーの開けかた／閉めかたは、「カバーの開けかた／閉めかた」（17 ページ）をご覧ください。

“メモリースティック”を入れる

“メモリースティック”を図の向きで「カチッ」と音がするまで差し込む。

ラベル面を上にして、▲ 印の方向にカチッと音がするまで差し込む

本機の電源が入っているときは、“メモリースティック”が認識されると、（“メモリースティック”）ランプが緑色に点灯します。

ご注意

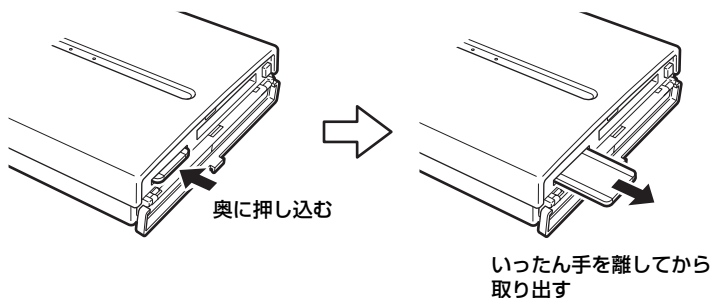
- 複数の“メモリースティック”を挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。

“メモリースティック”を取り出す

ご注意

コピー中は、絶対に“メモリースティック”を取り出さないでください。
データが壊れることがあります。

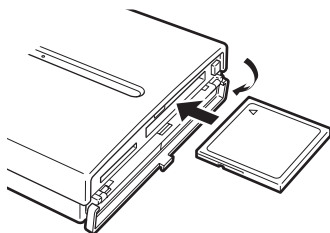
“メモリースティック”を奥に押し込んでから、いったん手を離し、“メモリースティック”を取り出す。

奥に押し込んでから手を離すと、“メモリースティック”が少し出てきます。

コンパクトフラッシュカードを入れる／取り出す

ヒント

スロットカバーの開けかた／閉めかたは、「カバーの開けかた／閉めかた」（17 ページ）をご覧ください。

コンパクトフラッシュカードを入れる

コンパクトフラッシュカードを図の向きで奥まで差し込む。

ラベル面を上にして、▲ 印の方向に奥まで差し込む

本機の電源が入っているときは、コンパクトフラッシュカードが認識されると、CF（コンパクトフラッシュ）ランプが緑色に点灯します。

ご注意

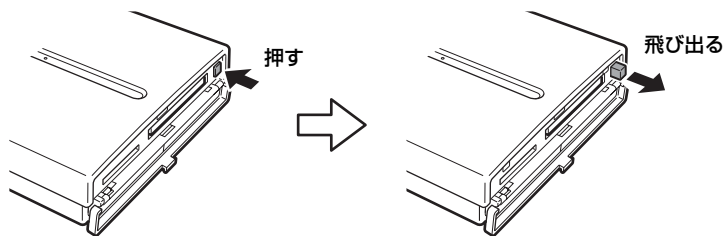
ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。

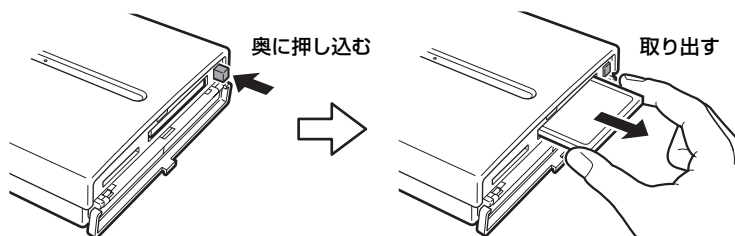
コンパクトフラッシュカードを取り出す

ご注意

コピー中は、絶対にコンパクトフラッシュカードを取り出さないでください。データが壊れることがあります。

1 イジェクトボタンを押す。

イジェクトボタンが飛び出します。

2 イジェクトボタンを奥に押し込んでから、いったん手を離し、コンパクトフラッシュカードを取り出す。

奥に押し込んでから手を離すと、コンパクトフラッシュカードが少し出てきます。

ご注意

イジェクトボタンが出ているときは、スロットカバーを閉めないでください。

本機にデータをコピーする

ここでは、本機のCOPY（コピー）ボタンを使って、“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードのデータを本機の内蔵ハードディスクにコピーする方法を説明します。

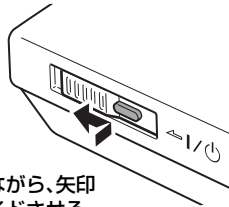
ヒント

パソコンにつないでコピーする方法については「パソコンとつないで使う」（30ページ）をご覧ください。

ご注意

- お使いの“メモリースティック”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み／書き込み速度が異なります。
- 他機でアクセスコントロールをかけられている“メモリースティック”のデータは、本機では読み書きできません。本機でデータの読み書きをするには、アクセスコントロールをかけた機器で解除してください。
- マジックゲート対応のデータは、本機にコピーされますが、使用することはできません（再生できません）。また、本機にコピーされたマジックゲート対応のデータを“メモリースティック”に戻すこともできません。

1　本機の電源を入れる。

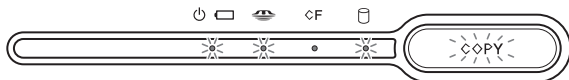
I/⏻（電源）スイッチのボタンを押しながら、矢印の方向にスライドさせ、⏻ ▭（パワー）ランプが点灯したら、手を離します。
⏻ ▭（パワー）ランプが点灯するまで、I/⏻（電源）スイッチをスライドさせたままにしておいてください。

ヒント

バッテリーの残量によって、⏻ ▭（パワー）ランプの色と光りかたが異なります。詳しくは、「バッテリー残量について」（21ページ）をご覧ください。

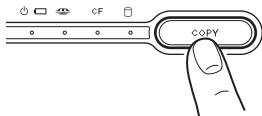
本機にデータをコピーする

2 **“メモリースティック”またはコンパクトフラッシュカードを本機に入れる。(23 ページ、25 ページ)**

メディアのランプと (ハードディスク)ランプ、COPY(コピー)ボタンが緑色に点灯します。

例)“メモリースティック”が入っている場合

ご注意

- COPY（コピー）ボタンが緑色に点灯しない場合は、エラーが発生しています。詳しくは、「ランプの見かた」（54 ページ）をご覧ください。
- 本機を単体でお使いになる場合は、“メモリースティック”とコンパクトフラッシュカードを一緒に入れて、両方のデータを一度にコピーすることはできません。1 枚ずつ入れて、コピー操作を行ってください。

3 **COPY(コピー)ボタンを押す。**

内蔵ハードディスクに自動的にフォルダが作成され、データがコピーされます。
コピー中はメディアのランプと (ハードディスク)ランプ、COPY(コピー)ボタンが順に点滅します。コピーが終わると、COPY(コピー)ボタンが緑色に点灯します。

ご注意

COPY(コピー)ボタンが赤色に点滅する場合は、本機の内蔵ハードディスクの空き容量が足りません。パソコンにつないで、パソコン上で不要なデータを削除してください。詳しくは、「不要なファイルやフォルダを削除するには」(44 ページ)をご覧ください。

ヒント

途中でコピーを中止したいときは、CANCEL/HDD CAPA.（取り消し／ HDD 残容量表示）ボタンを押します。確認のため、COPY（コピー）ボタンが赤色に点滅します。コピーを中止するには、もう一度 CANCEL/HDD CAPA.（取り消し／ HDD 残容量表示）ボタンを押します。コピーを続けるには、COPY（コピー）ボタンを押します。
途中でコピーを中止しても、内蔵ハードディスク内にはフォルダが作成され、内蔵ハードディスクの空き容量は少なくなります。

4 メディアを取り出す。(24 ページ、25 ページ)

必要に応じて、スロットカバーを閉めてください。

ヒント

COPY（コピー）ボタンと CANCEL/HDD CAPA.（取り消し／ HDD 残容量表示）ボタンが使えるのは、本機を単体で使用しているときだけです。パソコンにつないでいるときは、COPY（コピー）ボタンと CANCEL/HDD CAPA.（取り消し／ HDD 残容量表示）ボタンは使用できません。COPY（コピー）ボタンが使用可能なときは、COPY（コピー）ボタンが緑色に点灯します。

内蔵ハードディスクの残量を確認するには

ご注意

内蔵ハードディスクの残量が確認できるのは、本機を単体で使っているときだけです。

1 本機にメディアが挿入されていないことを確認する。

挿入されているときは、取り出します。取り出しかたは、「"メモリースティック" を取り出す」(24 ページ)、「コンパクトフラッシュカードを取り出す」(25 ページ)をご覧ください。

2 CANCEL/HDD CAPA.(取り消し／ HDD 残容量表示)ボタンを押したままにする。

しばらくすると、4 つのランプで内蔵ハードディスクの残量をお知らせします。

⏻ ▭	(メモリースティック)	CF	(HDD)	残量
緑点灯	緑点灯	緑点灯	緑点灯	20 GB 以上
−	緑点灯	緑点灯	緑点灯	10 ～ 20 GB
−	−	緑点灯	緑点灯	5 ～ 10 GB
−	−	−	緑点灯	1 ～ 5 GB
−	−	−	−	1 GB 未満

3 通常の状態に戻すときは、CANCEL/HDD CAPA.(取り消し／ HDD 残容量表示)ボタンを離す。

電源を切るには

I/⏻（電源）スイッチのボタンを押しながら、矢印の方向にスライドさせます。

電源が切れると、⏻ ▭（パワー）ランプが消えます。ただし、充電中は赤色に点滅します。

本機とパソコンを準備する

本機とパソコンを USB ケーブルでつなぎ、本機とパソコンでデータをやり取りするための準備をします。

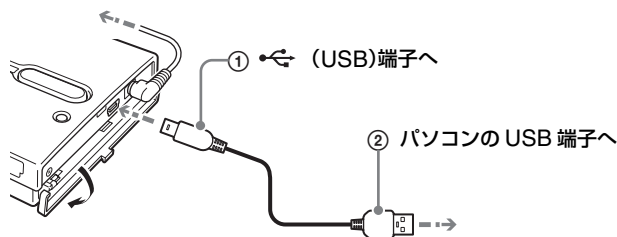
ヒント

- パソコンにつないでお使いになる場合は、“メモリースティック”とコンパクトフラッシュカードを、一緒に入れてデータのやり取りができます。
- 本機を初めてパソコンにつないだときは、必要なドライバソフトウェアが自動的にインストールされます。

1 パソコンの電源を入れる。

2 本機の電源を入れる。

本機に電源が入り、⏻ (パワー)ランプが点灯します。

3 本機右側の端子カバーを開け、付属の USB ケーブルを本機の (USB)端子につなぎ、もう一方をパソコンの USB 端子につなぐ。

ご注意

USB ハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。本機とパソコンを直接接続してください。

4 必要に応じて、本機に“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードを入れる。

ヒント

本機の電源が入っていなくても、パソコンと USB ケーブルでつないでいるときは、自動的にバッテリーが充電されます。ただし、バッテリーの性能を保つために、定期的に AC パワーアダプターをつないで充電してください。

パソコンにデータをコピーする

本機をUSBケーブルでパソコンにつなぐと、本機の内蔵ハードディスクや"メモリースティック"、コンパクトフラッシュカードのデータをパソコンから操作できるようになります。

ここでは例として、本機のデータをパソコンの［マイドキュメント］フォルダにコピーする手順を説明します（Windowsをお使いの場合）。パソコンのデータを本機にコピーするときも同様の手順で行えます。

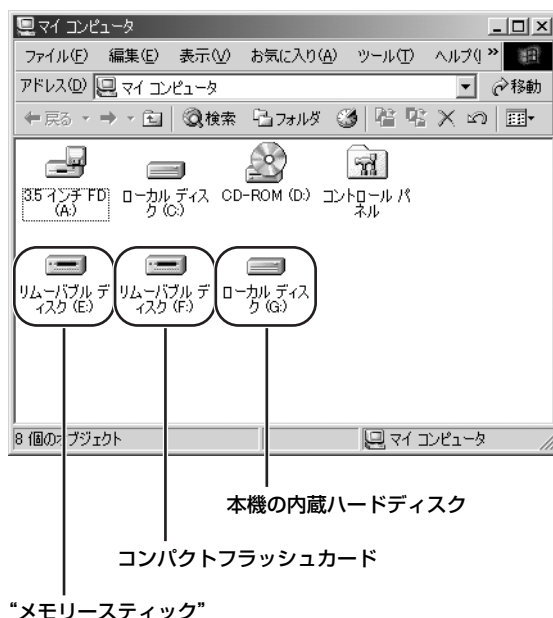
ご注意

本機をUSBケーブルでパソコンにつないでいるときは、本機のCOPY（コピー）ボタンとCANCEL/HDD CAPA.（取り消し／HDD残容量表示）ボタンは使用できません。

Windows 2000/Windows Meをお使いの場合

1 ［マイコンピュータ］をダブルクリックする。

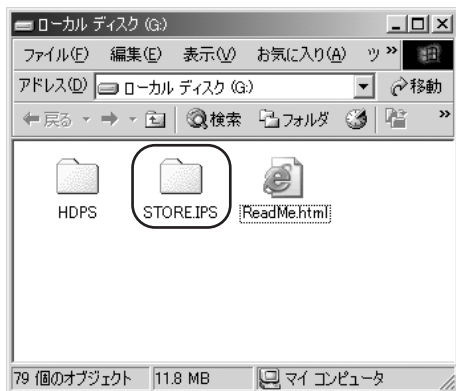
「マイコンピュータ」画面が表示されます。

「マイコンピュータ」には、“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカード、本機の内蔵ハードディスクが次のように表示されます。

ヒント

- “メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードはリムーバブルディスクとして、本機の内蔵ハードディスクはローカルディスクとして表示されます。なお、表示されるドライブ文字（「G:」など）は、お使いのパソコンによって異なります。
- リムーバブルディスクや本機の内蔵ハードディスクが表示されないときは、「本機のドライブがパソコンに表示されないときは」（35 ページ）をご覧ください。

2 [ローカルディスク(G:)]をダブルクリックする。

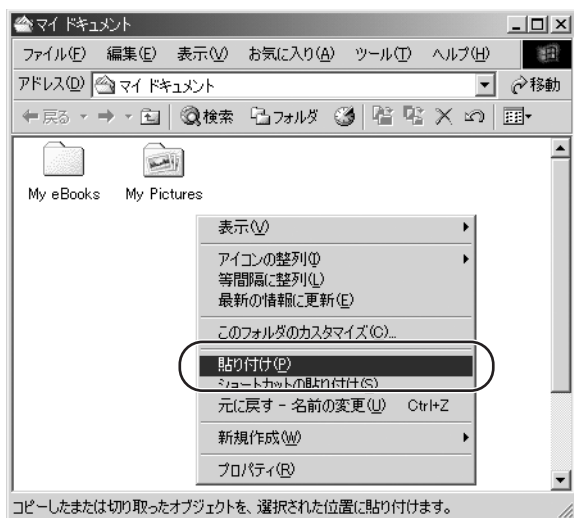
本機の内蔵ハードディスク内の内容が表示されます。

3 [STORE.IPS]をダブルクリックする。

本機の内蔵ハードディスクに保存されているフォルダやファイルが表示されます。フォルダ名について詳しくは、「データの保存先とフォルダ名」(44ページ)をご覧ください。

4 パソコンにコピーしたいファイルが入っているフォルダをダブルクリックする。

5 ファイルを右クリックしてメニューを出し、[コピー]を選ぶ。

6 [マイドキュメント]フォルダをダブルクリックする。

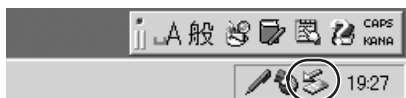
7 右クリックでメニューを出し、[貼り付け]を選ぶ。

「マイドキュメント」フォルダにファイルがコピーされます。

コピー先に同じファイル名のファイルがあるときは

元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルデータは消えます。

画像ファイルを上書きしないでパソコンにコピーする場合は、ファイル名を希望の名称に変更します。

パソコンから USB ケーブルを抜くときや、本機からメディアを取り出すときは

1 タスクトレイの をクリックする。

2 [USB大容量記憶デバイス - ドライブ(X:)を停止します]をクリックする。

3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする。

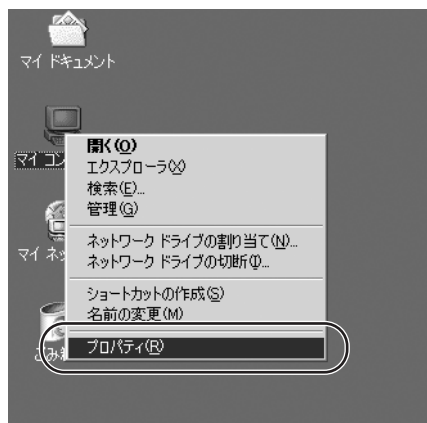
4 [OK]をクリックする。

5 USB ケーブルを抜く。

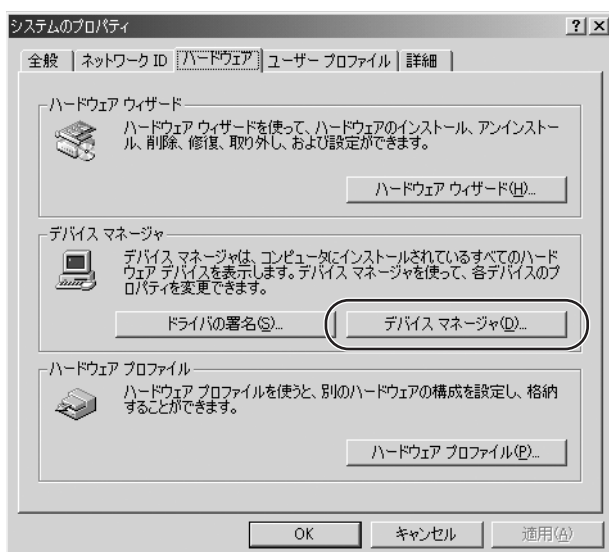
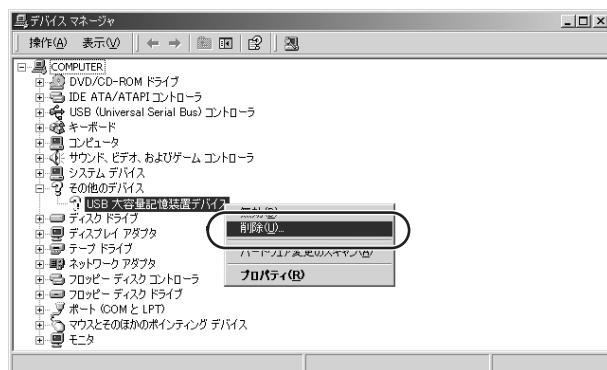
“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードを取り出す。

本機のドライブがパソコンに表示されないときは

Windows 2000 の場合

1 [マイコンピュータ]を右クリックしてメニューを出し、[プロパティ]をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

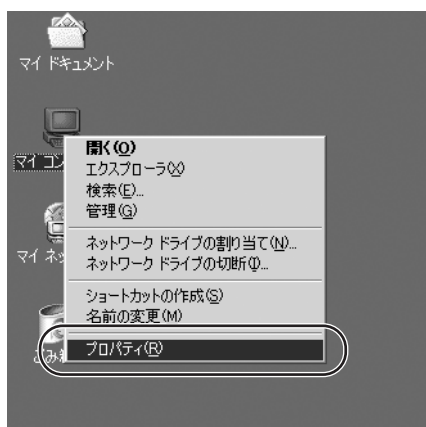
2 別のデバイスが表示されていないか確認し、表示されていたら削除する。

① [デバイスマネージャ]をクリックする。

② マークの付いた「USB 大容量記憶装置デバイス」がないか確認し、表示されていたら右クリックしてメニューを出し、[削除]をクリックする。
同様に[ディスクドライブ]も確認してください。

「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

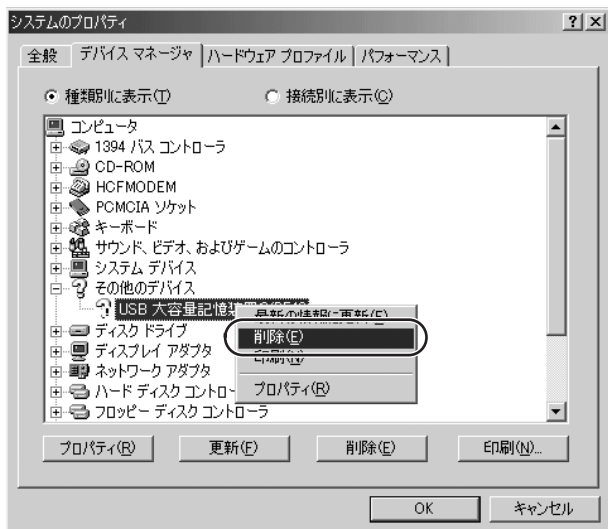
③ [OK]をクリックする。
デバイスが削除されます。

デバイスを削除したら、いったん USB ケーブルを抜き、つなぎ直してください。

Windows Me の場合

1 [マイコンピュータ]を右クリックしてメニューを出し、[プロパティ]をクリックする。

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

2 **別のデバイスが表示されていないか確認し、表示されていたら削除する。**

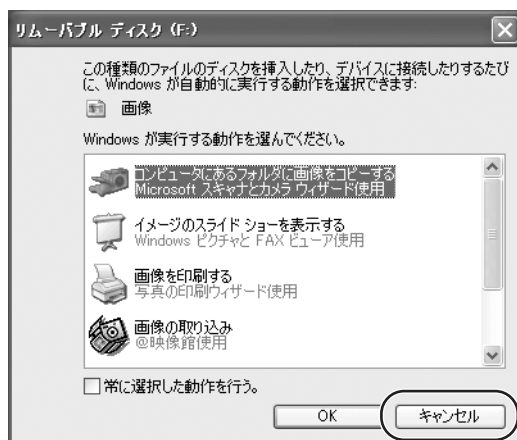
① マークの付いた「USB 大容量記憶装置デバイス」がないか確認し、表示されていたら右クリックしてメニューを出し、[削除]をクリックする。同様に[ディスクドライブ]も確認してください。

「デバイス削除の確認」画面が表示されます。

② [OK]をクリックする。
デバイスが削除されます。

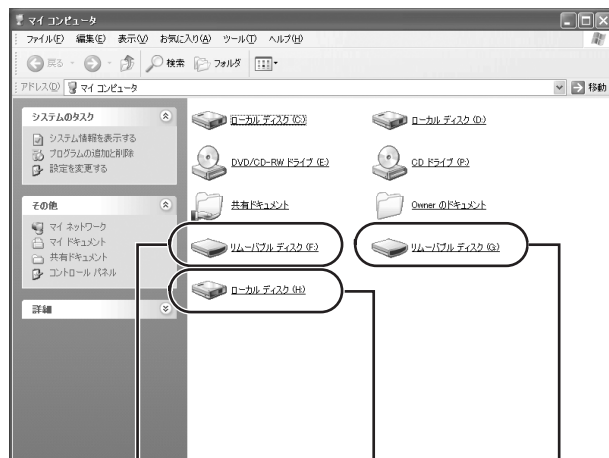
デバイスを削除したら、いったん USB ケーブルを抜き、つなぎ直してください。

Windows XP をお使いの場合

Windows XP のパソコンに USB ケーブルで本機をつなげると、自動再生ウィザードが表示されます。

1 [キャンセル]をクリックする。

2 [スタート]→[マイコンピュータ]をクリックする。

「マイコンピュータ」画面が表示されます。

「マイコンピュータ」には、“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカード、本機の内蔵ハードディスクが次のように表示されます。

“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードはリムーバブルディスクとして、本機の内蔵ハードディスクはローカルディスクとして表示されます。なお、表示されるドライブ文字（「F:」など）は、お使いのパソコンによって異なります。

3 [ローカルディスク(H:)]をダブルクリックする。

本機の内蔵ハードディスク内の内容が表示されます。

4 [STORE.IPS]をダブルクリックする。

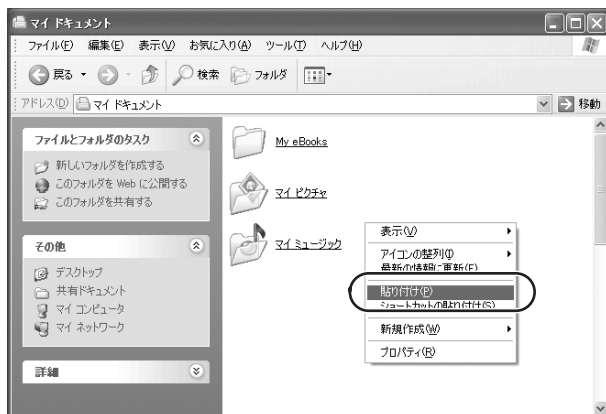
新しくフォルダを作成していない場合は、「STORE.IPS」フォルダのみ表示されます。

本機の内蔵ハードディスクに保存されているフォルダやファイルが表示されます。フォルダ名について詳しくは、「データの保存先とフォルダ名」(44ページ)をご覧ください。

5 パソコンにコピーしたいファイルが入っているフォルダをダブルクリックする。

6 ファイルを右クリックしてメニューを出し、[コピー]を選ぶ。

7 [マイドキュメント]フォルダをダブルクリックする。

8 右クリックでメニューを出し、[貼り付け]を選ぶ。

「マイドキュメント」フォルダにファイルがコピーされます。

コピー先に同じファイル名のファイルがあるときは

元の画像を上書きしてもよいかを確認するメッセージが表示されます。上書きすると、元のファイルデータは消えます。
画像ファイルを上書きしないでパソコンにコピーする場合は、ファイル名を希望の名称に変更します。

パソコンから USB ケーブルを抜くときや、本機からメディアを取り出すときは

1 タスクトレイの をクリックする。

2 [USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ(X:)を安全に取り外します]をクリックする。

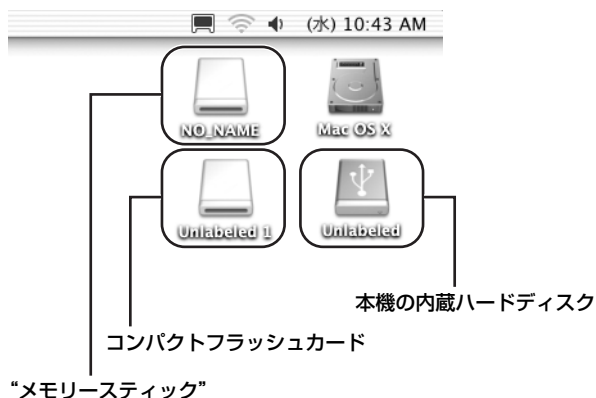
3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリックする。

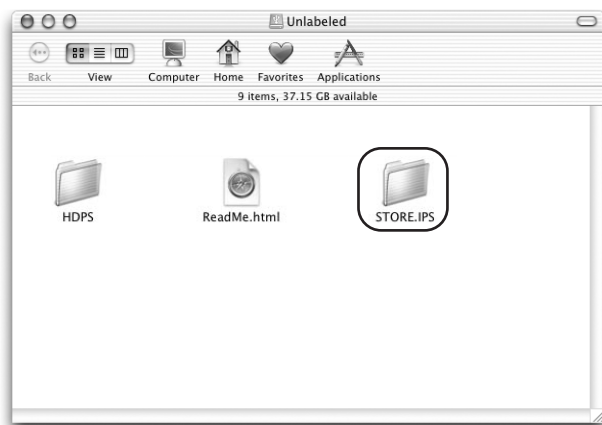
4 USB ケーブルを抜く。

“メモリースティック” やコンパクトフラッシュカードを取り出す。

Macintosh をお使いの場合

Macintosh に USB ケーブルで本機をつなげると、デスクトップに本機の内蔵ハードディスクやメディアのアイコンが新たに表示されます（メディアのアイコンは、本機に"メモリースティック"やコンパクトフラッシュカードを入れると表示されます）。

1 デスクトップ画面上の新しく認識されたアイコンをダブルクリックする。

ダブルクリックしたドライブの内容が表示されます。

2 [STORE.IPS]をダブルクリックする。

本機の内蔵ハードディスクに保存されているフォルダやファイルが表示されます。フォルダ名について詳しくは、「データの保存先とフォルダ名」(44ページ)をご覧ください。

3 コピーしたいファイルが入っているフォルダをダブルクリックする。

4 ファイルをハードディスクアイコンにドラッグ＆ドロップする。
ハードディスクにファイルがコピーされます。

本機からメディアを取り出すときは

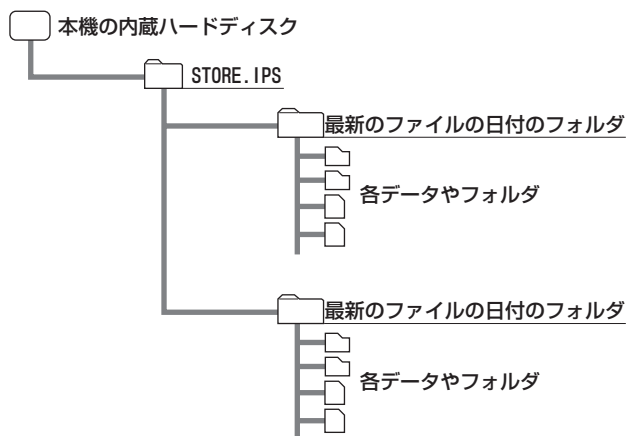
“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードのアイコンをゴミ箱にドラッグ＆ドロップします。

パソコンから USB ケーブルを抜くときは

1 すべてのメディアアイコンと本機の内蔵ハードディスクのアイコンを、ゴミ箱にドラッグ＆ドロップする。

2 USB ケーブルを抜く。

データの保存先とフォルダ名

本機の内蔵ハードディスク内にコピーされたデータは、次のようにまとめられています。

ヒント

- データがコピーされると、メディア内の最新のファイルの日付と同じ名前がついたフォルダが自動的に作成され、その中にデータが格納されます。例えば、コピーしたファイルの中で、2004 年 3 月 1 日のファイルが最新の場合は、「20040301.001」というフォルダが作成されます。すでに本機の内蔵ハードディスク内に同じ名前のフォルダがある場合は、拡張子が「.002」「.003」〜と、連番で繰り上がります。
- 日付のないファイルをコピーした場合は、「19800000.001」というフォルダが作成されます。

不要なファイルやフォルダを削除するには

Windows をお使いの場合

削除したいファイルやフォルダを右クリックしてメニューを出し、［削除］を選びます。または、削除したファイルやフォルダをごみ箱にドラッグ＆ドロップします。

Macintosh をお使いの場合

削除したいファイルやフォルダをゴミ箱にドラッグ＆ドロップします。

外付けハードディスクドライブまたはリーダー／ライターとして使う

本機は、USB 接続型の外付けハードディスクとして使用し、データを保存したり持ち出すためのメディアとして使用することができます。また、本機を“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードのリーダー／ライターとして利用することもできます。

ご注意

- 本機をハードディスクとして使用した場合、データを記録した分だけ、“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードからコピーするための空き容量が少なくなります。“メモリースティック”やコンパクトフラッシュカードからのコピーに必要な空き容量がなくなったときは、不要なデータを削除する必要があります。
- Windows や Macintosh で本機の内蔵ハードディスクをフォーマットしないでください。特に Windows で NTFS フォーマットにした場合は、本機を使用できなくなります。また、本機の内蔵ハードディスクをいくつかのパーテーションで仕切る場合は、必ず第 1 フォーマットは FAT32 にしてください。
- “メモリースティック”やコンパクトフラッシュカード内のデータをパソコンで加工したり、フォルダやファイルの名前を変更すると、デジタルカメラで再生できなくなる場合があります。

ヒント

本機をパソコンにつなぐと、本機とパソコン間でデータの受け渡しをするだけでなく、“メモリースティック”とコンパクトフラッシュカード間でデータの受け渡しをすることもできます。

“メモリースティック”のフォーマット時のご注意

Windows をお使いの場合に、“メモリースティック”をフォーマットするときは、下記の URL より Memory Stick Formatter（メモリースティックフォーマッタ）をダウンロードしてご使用ください。

http://www.sony.co.jp/Products/mssupport/download/down.html

故障かな?と思ったら

お客様ご相談センターにご相談になる前に下記の項目をもう一度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときは、お客様ご相談センターにご相談ください。また、お使いのパソコン本体に付属の取扱説明書または電子マニュアルもあわせてご覧ください。

ヒント

内蔵バッテリーの充電が必要なときや、本機を使用中にエラーが発生したときは、本機前面の 4 つのランプと COPY（コピー）ボタンで本機の状態をお知らせします。ランプの見かたについては、「ランプの見かた」（54 ページ）をご覧ください。

バッテリー・電源

症状	原因／対策
電源が入らない。	➔ 内蔵バッテリーの残量がなくなっている可能性があります。AC パワーアダプターを接続し、内蔵バッテリーを充電してください。（20 ページ）
すぐに電源が切れる。	➔ 内蔵バッテリーは充電後、使用してない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。使用前には、再度、充電することをおすすめします。 ➔ 出荷時の内蔵バッテリーは完全には充電されていないため、初めてお使いになるときから内蔵バッテリーが消耗している状態になっていることがあります。 ➔ 内蔵バッテリーを低温環境で使用していると、使用可能時間が短くなる場合があります。（20 ページ） ➔ 内蔵バッテリーは、充電回数、使用時間、保存期間に伴い、少しずつ性能が劣化していきます。このため、十分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。この場合には、新しい内蔵バッテリーに交換してください。内蔵バッテリーの交換についてはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

症状	原因／対策
突然電源が切れる。	➔ 本機を単体で使っているときは、5 分間何も操作しないでいると、AC パワーアダプターがつながっていても、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。(21 ページ)

本機にデータをコピーする

症状	原因／対策
コピーできない。	➔ "メモリースティック" やコンパクトフラッシュカードが正しく入っていて、本機に認識されているか確認してください。本機に認識されているときは、メディアのランプが緑色に点灯します。 ➔ "メモリースティック" とコンパクトフラッシュカードの両方が入っていないか確認してください。入っている場合は、どちらかのメディアを取り出してください。 ➔ COPY(コピー)ボタンが緑色に点灯しているか確認してください。 ➔ 本機の内蔵ハードディスクの空き容量が少なくなっていないか、確認してください。空き容量が少なくなっている場合は、不要データを削除してください。(44 ページ) ➔ バッテリーが十分残っているか確認してください。(21 ページ)

パソコンとつないで使う

症状	原因／対策
コピーできない。	➔ 本機とパソコンが正しくUSBケーブルでつながれているか確認してください。正しくつながれている場合は、本機のドライブがパソコンに表示されます。(30 ページ)
COPY(コピー)ボタンが使えない。	➔ パソコンとつないでいるときは、COPY(コピー)ボタンは使えません。
パソコンのデータを "メモリースティック" やコンパクトフラッシュカードにコピーできない。	➔ "メモリースティック" が書き込み禁止になっていないか確認してください。 ➔ "メモリースティック" やコンパクトフラッシュカードの空き容量が少なくなっていないか、フォーマットされているか確認してください。

使用上のご注意

使用・保管場所について

- データの読み書き中に外部から衝撃を与えないでください。
- 必ず付属のACパワーアダプターをお使いください。
- 端子をキーホルダーなどの金属類でショート（短絡）させないでください。
- 高温になった車の中や炎天下など、60 ℃以上になるところに放置しないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 不安定な場所で使用しないでください。
- 本機を持ち運ぶときは、必ず電源を切ってください。

本機の発熱について

本機が普段よりも異常に熱くなったときは、電源を切って、AC パワーアダプターを取りはずしてください。次に、お客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

結露について

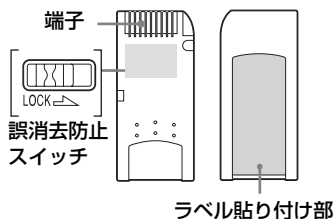
結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、そのままご使用になると故障の原因となります。結露が起きたときは、電源を入れずに約 1 時間放置してください。

ハードディスクについてのご注意

- データの読み書き中にケーブルを抜いたり、パソコンや本機の電源を切らないでください。データが破損したり、消去されることがあります。
  データが破損したり、消去されたことによる損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
  データの損失については、一切責任を負いかねます。

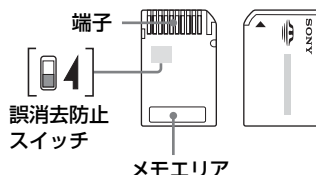
“メモリースティック”についてのご注意

“メモリースティック”使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができません。

誤消去防止スイッチの位置や形状は、お使いの“メモリースティック”によって異なることがあります。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみ出さないようにご注意ください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水に濡らさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

“メモリースティック　デュオ”使用上のご注意

- “メモリースティック　デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いものでので動かしてください。
- “メモリースティック　デュオ”のメモエリアに書きこむときは、あまり強い圧力をかけないでください。

メモリーセレクト機能に関するご注意

- 各メモリーを同時に、また連続でご使用することはできません。
- 本機の“メモリースティック”スロットに挿入した状態で、メモリーセレクトスイッチを切り替えると、故障の原因になりますので、決して行わないでください。万一上記の操作を行い故障した場合の保証は致しかねます。
- メモリーセレクトスイッチを切り替える際は、確実にスイッチを端まで移動させてください。切り替えが不十分な場合、故障、誤動作の原因となります。
- 本機の“メモリースティック”スロットに挿入する前に、ご使用になるメモリーが選択されていることをご確認ください。

- メモリーセレクト機能付“メモリースティック”では、“メモリースティック”内部のメモリーを切り替えスイッチにより選択してご使用いただけます。対応機器では、選択されているメモリーのみを認識しますので、下記のような場合にご注意ください。
  - フォーマット（初期化）処理は選択されたメモリーのみに行われます。
  - 残容量表示は選択されたメモリーのみの残容量です。
  - エラー表示は選択されたメモリーに対してのエラー表示です。
    それぞれ選択されていないメモリーとは独立で扱われます。

お手入れ

キャビネットの汚れは

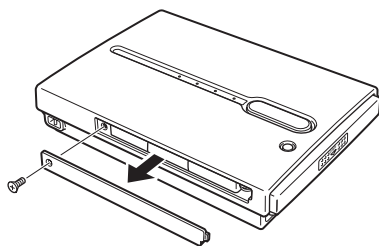
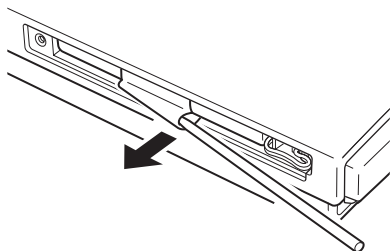
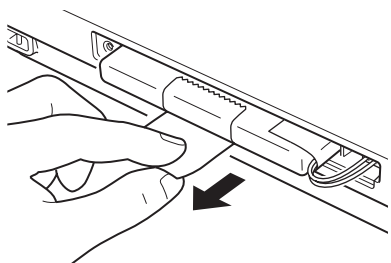
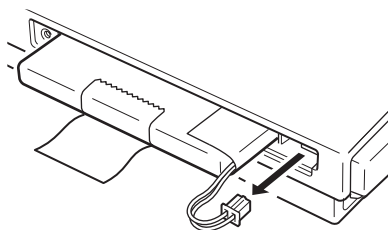
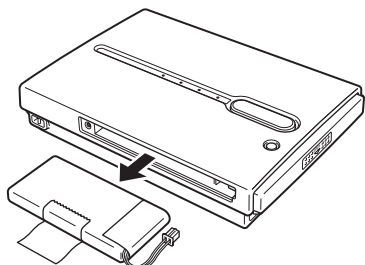
柔らかい布でから拭きします。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。

本機を廃棄するときのご注意

本機を廃棄する場合は、下記の手順に従って内蔵バッテリーを取りはずしてください。
内蔵バッテリーの交換はお客様ご相談センターへお申し出ください。
内蔵バッテリー交換の場合は、内蔵バッテリーを取りはずしておく必要はありません。
本機に内蔵されたバッテリー以外をお使いになりますと危険ですので、おやめください。
本機を廃棄するとき以外は、本機側面および内蔵バッテリーを取りはずさないでください。

内蔵バッテリーの取りはずしかた

1 **AC パワーアダプターおよび USB ケーブルなどを、すべて本機から取りはずす。**

2 **プラス（＋）ドライバーで、本機側面のネジ（1 か所）をはずす。**
内蔵バッテリーの側面にはシールが貼られています。

3 図のようにして、細い棒のようなものを使ってテープを引き出す。

4 テープを引っ張って、内蔵バッテリーを取り出す。

5 内蔵バッテリーのケーブルを取りはずす。

6 内蔵バッテリーを取り出す。

ご注意

- 本機内部の温度が高くなっている場合があります。内蔵バッテリーの取りはずしは、充分に温度を下げてから行ってください。
- 内蔵バッテリーを取りはずしたときに、本機内部に異物が入らないようにご注意ください。
- 内蔵バッテリーを取りはずした後、再度本機に組み込まないでください。
- 使用後の内蔵バッテリーの廃棄は、その地域の規制に従ってください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内仕様です。保証書は国内に限られています。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店か、お客様ご相談センターにご連絡ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、HDD フォトストレージの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

お問い合わせになるときは次のことをお知らせください。

型名：HDPS-M1
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店

TEL.

This HDD Photo Storage is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

本体

記憶容量
40 GB（ハードディスク）
（FAT32 でフォーマット済／ 1 GB は 10 億バイトで計算しています。）

メディアスロット
“メモリースティック”スロット× 1
コンパクトフラッシュスロット× 1

対応メディア
13 ページをご覧ください。

インターフェース
USB 2.0（Hi-speed ／ Full-speed）*
* 接続されるパソコンが USB 2.0 に対応していない場合、USB Full-speed（12 Mbps）の転送速度となります。

外部接続
USB（mini-B）× 1

電源
リチウムイオン充電池（内蔵）
AC100-240 V、50 ／ 60 Hz

消費電力
7.5 W（最大）

環境条件
動作温度：5 ℃～ 40 ℃
（温度勾配 10 ℃／時以下）
動作湿度：20%～ 80%
（ただし結露しないこと）

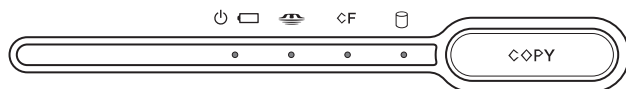
本体外形寸法
約 135 mm × 30 mm × 92 mm
（幅×高さ×奥行き）

本体質量
約 300 g

付属品
AC パワーアダプター
（HDAC-M1 ／ MCS-AC1）（1）
キャリングケース（1）
ハンドストラップ（1）
ランプ表示ラベル（1）
取扱説明書（本書）
PhotoDiary ソフトウェア（ハードディスクに内蔵）
電源コード（1）
はじめにお読みください（1）
USB ケーブル（1）
保証書（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ランプの見かた

内蔵バッテリーの充電が必要なときや、本機を使用中にエラーが発生したときは、4 つのランプと COPY（コピー）ボタンで本機の状態をお知らせします。以下の表で本機の状態と対処のしかたを確認してください。

バッテリー残量／充電表示

⏻ ▭（パワー）ランプでバッテリーの残量をお知らせします。
充電中は、⏻ ▭（パワー）ランプが点滅します。本機を使用中に充電する場合は、充電状態に応じて点滅するランプの色が、赤色 ⇨ 黄色 ⇨ 緑色に変わります。

ランプの状態	バッテリー残量	意味
緑色に点灯	50%以上	AC パワーアダプターを使わなくても充分動作します（または、AC パワーアダプター動作中です）。
黄色に点灯	10%以上 50%未満	バッテリーが少なくなっていますが、数枚のメディアはコピーできます。
赤色に点灯	10%未満	AC パワーアダプターをつないで充電してください。この状態でコピーを続けると、自動的に電源が切れます。
赤色に点滅	空	バッテリーが空になりました。充電が必要です。充電が終わると消灯します。

エラー表示

本機を使用中にエラーが発生すると、以下のようにランプが点灯し、エラーの状況をお知らせします。エラーが発生したときは、**CANCEL/ HDD CAPA.（取り消し／ HDD 残容量表示）ボタンを押してエラーを解除し**、以下の対処方法に従ってください。

起動時のエラー

光りかた				対処方法
（メモリースティックアイコン）	CF	（ハードディスクアイコン）	COPY	
緑点灯	—	—	黄点灯	“メモリースティック”をフォーマットしてください。
緑点灯	—	—	赤点灯	“メモリースティック”が壊れているので交換してください。
—	緑点灯	—	黄点灯	コンパクトフラッシュカードをフォーマットしてください。
—	緑点灯	—	赤点灯	コンパクトフラッシュカードが壊れているので交換してください。
緑点灯	緑点灯	—	黄点灯	“メモリースティック”かコンパクトフラッシュカードを取り出してください。
—	—	緑点灯	黄点灯	本機の内蔵ハードディスクを FAT32 でフォーマットしてください。
—	—	緑点灯	赤点灯	お客様ご相談センターにお問い合わせください。

コピー中のエラー

光りかた				対処方法
	CF		COPY	
緑点滅	—	—	黄 点灯	再度COPY（コピー）ボタンを押して、コピー操作をやり直してください。
緑点滅	—	—	赤点灯	“メモリースティック”を入れ直してください。それでもエラーが続くときは、“メモリースティック”を交換してください。
—	緑点滅	—	黄 点灯	再度COPY（コピー）ボタンを押して、コピー操作をやり直してください。
—	緑点滅	—	赤点灯	コンパクトフラッシュカードを入れ直してください。それでもエラーが続くときは、コンパクトフラッシュカードを交換してください。
—	—	緑点滅	黄 点滅	同じ日付けの名前がついたフォルダが最大数（999個）を超えました。内蔵ハードディスクから同じ日付けの名前がついたフォルダを削除してください。（44ページ）
—	—	緑点滅	黄 点灯	再度COPY（コピー）ボタンを押して、コピー操作をやり直してください。
—	—	緑点滅	赤点滅	内蔵ハードディスクの空き容量が不足しています。不要なデータを削除して、空き容量を増やしてください。（44ページ）
—	—	緑点滅	赤点灯	お客様ご相談センターにお問い合わせください。

商品について詳しくは、http://www.sony.co.jp/MS/ をご覧ください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ　● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*…………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月～金曜日 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。

1 ：修理受付
2 ：使用方法や故障と思われるご相談
3 ：お買物相談
4 ：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5 ：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35